

平成29年度 秦小グランドデザイン

学校教育目標

○ 思いやりのある子 ○ 元気な子 ○ 進んで学ぶ子

徳

体

知

<目指す児童像> 荻野吟子女史の不屈の精神を受継ぐ (人をいたわり、素直な態度と我慢のできる児童)
 ○ だれとでも仲よくし、礼儀正しい子 ○ 最後まで全力で取り組む子 ○ 課題を見つけ進んで学ぶ子

協力・責任・感謝

素直・正義・全力

自主・静聴・集中

- ◎ だれとでも仲良くする子
- ◎ きまりや約束をまもる子
- ◎ 感謝の心をもって行動する子

- ◎ 明るいあいさつや返事のできる子
- ◎ 正しいことが堂々とできる子
- ◎ めあてをもって最後までがんばる子

- ◎ 課題を見つけ自ら学ぶ子
- ◎ 人の話を静かに聴く子
- ◎ 集中して学習に取り組む子



いじめ撲滅宣言



正義の味方



集中して学習

- 友だちをたくさんつくる (縦割り活動の充実)
- いじめ撲滅宣言 (秦小みんなで宣言) ・ いじめは絶対に許しません(解決100%)
- 3つの「あ」の徹底 「安心・あいさつ・後始末」靴そろえ100%
- 菊づくり、一人一鉢栽培、農園体験
- 道徳の見える化 (きらきらカード10枚以上)
- 「ありがとう・ごめんなさい」と言う100%

- 呼ばれたら「ハイ」と元気よく返事100%
- 朝ごはんを食べて元気に登校:100%
- むし歯治療率100%
- 学習規律や生活規律の定着90% (秦スタ活用)
- 新体カテスト達成目標A+B+C=100%
- 無言清掃 (最後の5分) 80%
- 朝マラソン (年間50周80% 80周20%)
- ずるいことやごまかしはしない100%

- 自主学習ノートの取組 (400冊)
- 計算オリンピック全員メダリスト
- 話し手につま先を向けて聴く(100%)
- 話を聞くときの合言葉「ぐう」「べた」「ぴん」
- 全国学テ熊谷市の平均より上位
- 全校朝読書、読書月間(6・11月)の実施
- 読書の木(1・2年100冊 3~6年50冊以上)
- 少人数指導の実施と学び合いの授業

生きる力を育むための土台 **【熊谷の子どもたちは、これができます! 「4つの実践」と「3減運動」】**

《4つの実践》アクセル

- 朝ごはんをしっかりと食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

大人が手本
となって

《3減運動》ブレーキ

- テレビの時間を減らします。
- ゲームの時間を減らします。
- スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

家庭

- PTA活動
- 授業参観
- お便りの配布 HP等

地域

- 学校応援団
- ボランティアパトロール
- 校区連絡会との交流
- 秦っ子クラブ

<学校研究課題> 平成29年度小中一貫教育推進モデル事業
 「確かな学力を身に付け、心豊かに生きる児童生徒の育成」
 ~ 小中一貫した学習規律・生活規律の徹底とわかる・できる授業の実践 ~

くまなびスクール

妻沼東中・長井小・妻沼小との連携

学校

合言葉「キラリ秦っ子」

<目指す学校像>

- 一人一人が輝き学ぶ意欲にあふれた学校
- 秩序ある学校 (けじめ)
- 楽しい学校 (学力日本一)
- 美しい学校 (潤いのある)

<教師の行動指針>

『スピード・スマイル・チャレンジ』
《目指す教師像》 厳しいけど優しい先生

各学年の児童数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	たんぼぼ	合計
学級	1組	1組	1組	1組	1組	1組		
児童数	男 9	7	5	11	7	10	0	49
	女 5	9	8	9	14	5	1	51
児童数計	14	16	13	20	21	15	1	100
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7

《経営方針》

子どもたちに知力・徳力・学力をつけたと胸を張れる実践

- (1) 全職員が一丸となって、学校教育目標の達成に努める。
- (2) 「わかる・できる」授業の実践に努める。
- (3) 家庭・地域と連携し、地域に根ざした教育を推進する。
- (4) 教育環境を整備し、安心・安全で潤いのある学校づくりに努める。